



花き生産情報第2号

平成28年5月19日発表
青森県「攻めの農林水産業」推進本部

施設内の温度変化が激しい時期です。適正な温度管理により高品質な花きの生産に努めましょう。

土壌診断に基づいた施肥設計で、バランスの良い土づくりに努めましょう。

夏秋ギク

1 生育状況

育苗・定植作業は順調に進み、生育は概ね平年並である。病虫害の発生は見られていない。

表1 定植月日

場 所	年 次	品 種	定植月日	栽植本数	仕立て方法
新 郷 村	本 年	精の一世	4月18日	4,030本/a	無摘心
	前 年	精の一世	4月15日	3,468本/a	無摘心
	一昨年	精の一世	4月19日	3,550本/a	無摘心
平 川 市	本 年	岩の白扇	4月30日	1,600本/a	2本仕立て
	前 年	岩の白扇	5月2日	3,200本/a	無摘心
	平 年	岩の白扇	4月26日	—	無摘心

(注) 新郷村の平年値：品種変更によりなし
平川市の平年値：平成20年～27年の平均値

2 今後の作業

(1) 芽かき

切り花の品質向上のため、わき芽は小さいうちにかき取る。

(2) ビーナイン処理（施設栽培のみ）

茎の伸びやすい品種では、ボリュームを向上させるため、ビーナイン顆粒水溶剤等を散布する。

(3) 病虫害防除

白さび病やアブラムシ類、アザミウマ類、ハモグリバエ類が多発する時期なので、ほ場を良く見回り早期発見に努め、適期防除を徹底する。

秋 ギ ク

1 今後の作業

(1) 苗の養成

採穂に当たっては、太さが揃い充実したものを選択し、長さ5cm程度に調整して、2×2cm程度の間隔でさし芽を行う。

(2) 定植床の準備

- ア 10月出荷の作型は、6月上旬～下旬に定植できるように、計画的に作業を進める。
- イ 土壌pHの矯正及び基肥の施用は定植2週間前までに済ませ、土に十分なじませておく。
- ウ 初期の水分不足は、生育の遅れを招くので、定植の数日前に十分かん水しておく。

(3) 定植

- ア 苗は、1～2cm程度発根したものを定植する。老化苗は、定植後の生育が劣るので使用しない。
- イ 定植した後に、軽くかん水して活着を促進する。

(4) 定植後の温度管理

日中は25℃以上にならないように管理する。

トルコギキョウ

1 生育状況

越冬栽培の生育は順調に経過している。春播き栽培の定植作業は順調に行われ、生育は良好である。病虫害の発生は見られていない。

表2 定植月日

場 所	年 次	品 種	は種日	定植月日	栽植本数
青 森 市	本 年	はるか	1月28日	4月 1日	3,333本/a
	前 年	はるか	2月 3日	4月11日	3,333本/a
	一昨年	シュークリーム	1月30日	4月 3日	3,333本/a
田舎館村	本 年	セブピンク	2月27日	4月26日	2,800本/a
	前 年	セブピンク	2月25日	4月24日	2,805本/a
	一昨年	セブピンク	2月24日	4月19日	2,805本/a

2 今後の作業

(1) 定植

- ア 9～10月出荷の作型は6月下旬までに計画的に定植する。
- イ 定植後の水分不足は、切り花品質が低下しやすくなるので、定植の数日前に十分かん水しておく。
- ウ 老化苗は定植後の生育が劣るので、本葉が4枚展開するまでに定植する。

(2) かん水

発らいまではかん水して乾燥させないようにする。

(3) 温度管理

気温が25℃以上になると、生育の停滞やロゼットの要因となるので、換気などにより温度管理を徹底する。

(4) 病虫害防除

立枯性病害は、多肥や過湿の条件で発生しやすいので、施肥、換気、かん水などの管理を適正に行い、発病株は抜き取りを徹底する。

土づくり

施設栽培のほ場では、肥料成分の過剰蓄積が見られるため、ほ場の準備に当たっては、土壌診断に基づく適正な施肥を行う。

花き生産指導情報第3号は平成28年6月20日発行の予定です。

春の農作業安全運動を展開中です（4月1日～5月31日）

決め手は土づくり！「日本一健康な土づくり運動」展開中！

農薬危害防止運動を展開中です（5月1日～8月31日）